

日本政策金融公庫と連携した「J-Startup TOHOKU」認定企業への支援について (日本積層造形株式会社)

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、日本政策金融公庫 仙台支店（支店長 兵藤 匡俊）と連携し、日本積層造形株式会社（代表取締役 日下 良太、以下「当社」といいます。）に対し日本政策金融公庫の「新型コロナ対策資本性劣後ローン」による資金調達を支援しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後も将来の成長が期待される事業者に対する積極的な成長支援を通じた地域価値の向上に取り組んでまいります。

記

1. 背景

当行は、当社の革新的な技術と事業の将来性を高く評価し、成長に向けた資金供給および販路拡大に向けた当行取引先とのマッチング支援等に取り組んできました。今般、当社のさらなる成長加速に向けた成長資金の調達に際し、当行の支援体制が評価され、日本政策金融公庫からの「新型コロナ対策資本性劣後ローン」の導入が決定したものです。

2. 当社概要

当社は、金属3Dプリンター専門の技術サービス会社として、航空・宇宙関連、医療関連、自動車関連等の様々な分野を対象に事業を展開しています。当社は、①金属粉の開発から試作造形・量産対応まで一気通貫で対応可能なこと、②製品毎に最適なレシピ（造形条件、粉末条件、設計レイアウト等）を開発し、多様なニーズに対応可能なこと、③造形が困難な特殊材料での造形技術、独自の高品質な金属粉末技術を有すること等により高い競争優位性を有しており、今後の活躍が見込まれる有望な企業として「J-Startup TOHOKU」に認定されています。

企 業 名	日本積層造形株式会社		
本 社 所 在 地	宮城県多賀城市八幡字一本柳3-8		
設 立	2017年10月	資 本 金	99百万円
事 業 内 容	金属3Dプリンター用金属粉の製造・販売 金属3Dプリンティング技術による受託造形、実用品、量産品開発		

- 1 -



3. 支援内容

当行は、当社に対し、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社が運営する「THVP-1号ファンド」による出資を通じた資本増強および融資を通じた事業資金の供給、当行取引先とのビジネスマッチング等の支援を行っております。

当行は、2014年7月に日本政策金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結し、スタートアップ企業に対する連携支援に取り組んでおり、本件はその取組みの一環となります。

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明しました。

以上